

商品名 セルトラリン錠25mg「アメル」 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	セルトラリン塩酸塩25mg錠
英名	Sertraline AMEL	剤型	錠
薬価	9.50	規格	25mg 1錠
メーカー	共和薬品	毒劇区分	(劇)

セルトラリン錠25mg「アメル」の効能・効果

うつ状態、うつ病、パニック障害、外傷後ストレス障害

セルトラリン錠25mg「アメル」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、MAO阻害剤投与中あるいは投与中止後14日間以内、ピモジド投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 躁うつ病、自殺企図の既往、自殺念慮又はその既往、脳器質的障害、統合失調症素因、衝動性が高い併存障害、痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、QT延長又はその既往、低カリウム血症、著明な徐脈、出血傾向、出血性素因、出血の危険性を高める薬剤を併用、緑内障又はその既往、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

セルトラリン錠25mg「アメル」の副作用等

1. 自殺念慮、自殺企図	記載場所	効能・効果
	頻度	頻度不明
2. 肝機能障害、肝不全、肝炎、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. セロトニン症候群、不安、焦燥、興奮、錯乱、発汗、下痢、発熱、高血圧、固縮、頻脈、ミオクロヌス、自律神経不安定、悪性症候群、無動緘黙、強度筋強剛、嚥下困難、血圧変動、白血球増加、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、痙攣、昏睡、低ナトリウム血症、低浸透圧血症、尿中ナトリウム排泄量増加、高張尿、意識障害、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、SIADH、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、アナフィラキシー、呼吸困難、喘鳴、血管浮腫、QT延長、心室頻拍、torsade de pointes、血小板減少	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

4. 傾眠、悪心、嘔吐	記載場所	その他の副作用
5. 攻撃的反応、不安、焦燥、興奮、幻覚、不随意性筋収縮、ジスキネジー、ジストニー、片頭痛、失神、散瞳、血小板機能異常、紫斑、斑状出血、皮下出血、腭炎、過敏症、光線過敏性反応、尿失禁、夜尿、乳汁漏出症、女性化乳房、開口障害、甲状腺機能低下症、低ナトリウム血症、高プロラクチン血症、血糖異常、気管支痙攣、好酸球性肺炎	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
6. 睡眠障害、不眠、錯乱状態、悪夢、易刺激性、易興奮性、うつ病、躁病、精神症、多幸症、リビドー減退、記憶障害、注意力障害、頭痛、浮動性めまい、振戦、感覚減退、起立性めまい、味覚異常、頭部不快感、運動障害、アカシジア、錐体外路症状、運動過多、歯ぎしり、歩行異常、錯感覚、調節障害、視覚異常、霧視、羞明、視力低下、耳鳴、耳閉感、回転性眩暈、動悸、起立性低血圧、血圧低下、血圧上昇、頻脈、ALT増加、AST増加、γ-GTP増加、LDH増加、Al-P増加、総ビリルビン増加、直接ビリルビン増加、白血球数増加、白血球数減少、単球増加、出血傾向、鼻出血、胃腸出血、血尿、口内乾燥、下痢、軟便、便秘、腹部不快感、腹痛、腹部膨満、消化不良、食欲不振、胃腸障害、食欲亢進、発疹、蕁麻疹、そう痒症、顔面浮腫、眼窩周囲浮腫、排尿困難、尿閉、頻尿、性機能障害、射精遅延、持続勃起症、月経障害、背部痛、関節痛、筋緊張異常、筋硬直、筋緊張亢進、筋痙攣、総蛋白減少、総コレステロール増加、尿糖、尿蛋白、倦怠感、多汗、発汗、寝汗、無力症、熱感、異常感、胸痛、胸部圧迫感、疲労、発熱、ほてり、悪寒、体重減少、体重増加、末梢性浮腫、あくび、脱毛症	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
7. 血小板減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 不安、焦燥、興奮、パニック発作、不眠、易刺激性、敵意、攻撃性、衝動性、アカシジア、精神運動不穏、軽躁、躁病、自殺念慮、自殺企図、他害行為、不安増悪、焦燥増悪、興奮増悪、パニック発作増悪、不眠増悪、易刺激性増悪、敵意増悪、攻撃性増悪、衝動性増悪、アカシジア増悪、精神運動不穏増悪、軽躁増悪、躁病増悪、浮動性めまい、錯感覚、頭痛、悪心、躁転、QT延長、心室頻拍、torsade de pointes、鼻出血、胃腸出血、血尿、入院期間の延長・呼吸補助・経管栄養を必要とする離脱症状と同様の症状、呼吸窮迫、チアノーゼ、無呼吸、発作、体温調節障害、哺乳障害、嘔吐、低血糖症、筋緊張低下、筋緊張亢進、反射亢進、振戦、びくつき、持続性の泣き、新生児遷延性肺高血圧症、出血傾向増強、死亡、傾眠、胃腸障害、頻脈、セロトニン性副作用、昏睡、骨折、受精率に影響	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 自殺念慮	記載場所	使用上の注意
	頻度	5%未満

セルトラリン錠25mg「アメル」の相互作用

- 薬剤名等：MAO阻害剤投与中あるいは投与中止後14日間以内

発現事象 -

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

- 薬剤名等：MAO阻害剤

発現事象	異常高熱、昏睡、全身痙攣、発汗、不穏	投与条件	-
理由・原因	セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まる	指示	禁止
3. 薬剤名等：ピモジド			
発現事象	AUC及びCmaxがそれぞれ1.4倍増加、QT延長	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止
4. 薬剤名等：アルコール			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	他の抗うつ剤で作用の増強	指示	希望禁止
5. 薬剤名等：飲酒			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	他の抗うつ剤で作用の増強	指示	希望禁止
6. 薬剤名等：メチルチオニウム塩化物水和物			
発現事象	セロトニン症候群	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤のMAO阻害作用によりセロトニン作用が増強	指示	注意
7. 薬剤名等：リネゾリド			
発現事象	血圧上昇、錯乱、協調運動障害、セロトニン症候群の症状	投与条件	-
理由・原因	リネゾリドは非選択的、可逆的MAO阻害作用を有する	指示	注意
8. 薬剤名等：5-HT1B/1D受容体作動薬			
発現事象	興奮、錯乱、反射亢進、不安、協調運動障害、焦燥、脱力	投与条件	-
理由・原因	相互に作用を増強	指示	注意
9. 薬剤名等：トラマドール塩酸塩含有製剤			
発現事象	セロトニン作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤はセロトニン作用を有する	指示	注意
10. 薬剤名等：メサドン塩酸塩			
発現事象	セロトニン作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤はセロトニン作用を有する	指示	注意
11. 薬剤名等：ペンタゾシン含有製剤			
発現事象	セロトニン作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤はセロトニン作用を有する	指示	注意

12. 薬剤名等：ペチジン塩酸塩含有製剤

発現事象 セロトニン作用が増強

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤はセロトニン作用を有する

指示 注意

13. 薬剤名等：タペンタドール塩酸塩

発現事象 セロトニン作用が増強

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤はセロトニン作用を有する

指示 注意

14. 薬剤名等：デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物含有製剤

発現事象 セロトニン作用が増強

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤はセロトニン作用を有する

指示 注意

15. 薬剤名等：フェンタニル含有製剤

発現事象 セロトニン作用が増強

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤はセロトニン作用を有する

指示 注意

16. 薬剤名等：L-トリプトファンを含有する製剤

発現事象 セロトニン作用が増強

投与条件 -

理由・原因 L-トリプトファンはセロトニンの前駆物質であるため、脳内セロトニン濃度が高まる

指示 注意

17. 薬剤名等：セイヨウオトギリソウ含有食品

発現事象 セロトニン作用が増強

投与条件 -

理由・原因 セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）はセロトニン作用を有する

指示 注意

18. 薬剤名等：炭酸リチウム

発現事象 セロトニンに関連した副作用＜振戦等＞が増大

投与条件 -

理由・原因 相互に作用を増強

指示 注意

19. 薬剤名等：三環系抗うつ剤

発現事象 薬剤の血中濃度が上昇し作用が増強

投与条件 -

理由・原因 本剤がこれらの薬剤の代謝を阻害

指示 注意

20. 薬剤名等：ワルファリン

発現事象 プロトロンビン反応時間曲線下面積が軽度増加＜8%＞

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

21. 薬剤名等：出血傾向が増強する薬剤

発現事象	異常出血＜鼻出血・胃腸出血・血尿等＞	投与条件	-
理由・原因	SSRIの投与により血小板凝集能が阻害され、これらの薬剤との併用により出血傾向が増大	指示	注意

22. 薬剤名等：トルブタミド

発現事象	クリアランスが減少＜16%＞	投与条件	-
理由・原因	本剤がこの薬剤の代謝を阻害	指示	注意

23. 薬剤名等：シメチジン

発現事象	本剤のAUC及びCmaxの増大＜50%・24%＞、本剤のt1/2の延長＜26%＞	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝が阻害	指示	注意

24. 薬剤名等：QT延長を起こすことが知られている薬剤

発現事象	QT延長	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が相加的に増加	指示	注意

25. 薬剤名等：スルピリン水和物

発現事象	本剤の血漿中濃度が低下し有効性が減弱	投与条件	-
理由・原因	CYP2B6及びCYP3A4が誘導され、本剤の代謝が促進	指示	注意

26. 薬剤名等：電気けいれん療法

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』